

平成 27 年度 第 1 回安城市環境審議会分科会議事録要旨

日 時	平成 27 年 5 月 22 日 (水) 午後 1 時 30 ～ 3 時 30 分	
場 所	安城市役所西会館 2 階第 3 8 会議室	
出席者	委 員	竹内恒夫委員、細井委員、山田委員、片桐徹委員、中西委員
	事務局	新井副市長、環境部長、環境首都推進課長、環境首都推進課課長補佐、環境首都推進課環境保全係長、環境首都推進課職員
次 第	1 副市長あいさつ 2 議題 (1) 趣旨説明 (資料 1) (2) 課題・問題点整理 (資料 2・3・4・5) 3 今年度のスケジュールについて (資料 6) 4 その他 環境フォーラム 2015 (6 月 13 日 (土) 午後 1 時 15 分～)	

1 副市長あいさつ

2 議題

(1) 趣旨説明 (資料 1)

事務局より説明

(2) 課題・問題点整理 (資料 2・3・4・5)

事務局より現状と課題について説明。

<資料に関する意見>

【片桐委員】

会社の倉庫の上に太陽光パネルを設置することを検討したが、断念した。理由は、売電価格が安いことと、蓄電効率の良いバッテリーがなく役に立たないことである。結局、行動の決め手はお金である。購入補助金と、環境に悪いものに課税することで取り組みを進める。

【山田委員】

「低炭素」では、行政が考えることと、市民が考えることがある。行政がやることでは、インフラやまちづくり、道路整備、自転車道や緑地、充電スタンドなどがある。町の組長をやった経験では、住宅地では街路灯が消えたら誰かが連絡したが、商店街では切れると連絡がない。昔は商店がお金を出して店名を入れた街灯があったが、今では商店街の明かりが消えてしまった。防犯灯は街中にあり、初期コストはかかるが、LED 化してはどうか。

我が家は築年数が古く、補助金を活用して断熱材やペアガラスを導入するリフォームをしたら、快適になった。

【細井委員】

アンケートにあるコストと市民の意識は、そのとおりだと思う。デンパーク周辺に

自動車専用道をつくろうとしたことがある。北中に自動車道ができたが、他の地区も自転車関係は進んでいるのか。区画整理等で配慮されているか。市民にわかるようにしてほしい。

【中西委員】

「環境」だけでは人は動かない。アンケートの、行動の理由としてかこつけると、このような結果になるのではないか。

一つは、理由をつけるだけの働きかけをしているか。行動させるには、企業で言う「ハラオチ」させることが大切。例えば、このままの暮らしで自分の子、孫がどうなるかを描かせる。公共施設にエネルギー枯渇体験ルームを作る、とか。やる気になったら、いくらでもメニューは出てくる。

二つ目は、メリットがなければ、人はやらない。良い蓄電池がない話があったが、電気を水素に変えれば蓄えられる。技術革新で出来ることがある。自動車をPHEV(三菱のアウトランダー)にしたところ、10ヶ月で35万円ぐらいの削減効果があった。3年間で十分元が取れる計算になる。

【竹内委員】

市全体で効率の良い作りをと訴えてきた。たとえば、コジェネ、駅前の再開発など。以前市で、家庭ごみを使った発電、熱利用を検討していたようだが、どうなったか。

事務局：焼却場は延命化を進めているので、熱利用の方は検討対象外になった。

【竹内委員】

自宅では、太陽電池は一般家庭の4軒分15KWぐらいあり、売電収入がある。夜間の電力消費がもったいないので、夜早く寝て朝早く起きるようになった。他にも強制循環式の太陽熱温水器とエコジョーズがある。太陽熱温水器は、昔は自治体の補助金があったが、最近はなくなった。売電収入で儲かるし、エネルギーの地産地消の面からこうした機器は導入すると良い。薪ストーブも使っている。薪はメガソーラー用地からもらったので買っていない。

事務局：市では太陽熱温水器購入に補助金を出しているが、既設の付け替えが大半で、新規はない。

自転車道は、デンパークの西から農協側にかけて道路の端に自転車専用部分に色づけをしている。徐々に進めていく予定である。

岡崎市の三菱自動車の事業所では、自社の駐車場に充電器を整備し、社員に充電を無料にしている。市の次世代自動車購入補助金に、三菱自動車が多くなったのは、市から通勤している人がいるからと考えられる。

【中西委員】

自動車の充電では、以前1000円のカードを購入すると充電し放題だったが、その会社がつぶれてしまった。以来充電スタンドのコストが上がり、メリットがなくなってしまった。

事務局：車種によって充電スタンドの課金のシステムが異なる。市役所ではプリウス、デンパークではリーフやアウトランダーが多い。会社に設置した充電スタンドを無料にすると、実質通勤手当を加算していることになる。市の購入補助金は、15万円。次世代自動車振興センターの補助金と合わせて70～80万円程度。

【片桐委員】

当社では、通勤も含めて100台ぐらいの自動車が停まっている。出勤した人に通勤費代わりに充電スタンドの例のような何らかのパッケージを、車種によるシミュレーションをした上で提案をするのも良いかもしれない。

【山田委員】

うちは部品メーカーなので、充電スタンドのような対策はないが、効率化は検討した。今は、名鉄利用を進める方向で進めている。

<商店街と車について>

事務局：市ではCOMSと太陽光発電による充電のセットで進めている。他分科会の委員から、市街地に車を入れないという意見が出たが、商店街ではどう考えるか。

【細井委員】

車で来る人が多い。買い物は車で来て、より近くに停めたいと考えるので、行政が強制的にするのはどうか。車を便利にすると渋滞しないが、不便にすると乗らない。車を使っても電気自動車なら良いのでは。

【竹内委員】

商店街を車で通過すると、客はいなくなる。自転車の時は、道に車がないことも必要。

【細井委員】

お客さんは、道路のアクセス性、利便性を求めている。健康のために、遠くから自転車で来る人もいる。車を入れないだけで、商店街が活性化するのか。

【竹内委員】

車で通過する以外に、商店街に車で買い物をする人はいるのか。

【細井委員】

道路を凹ませて、車を止めさせて、という声は多い。

事務局：健康により良いというのは、ポイントになるのでは。環境によいと言うより取り組みやすい。自転車は、車が止まって入りにくいことも。

【竹内委員】

名古屋の広小路は自動車進入禁止にさせようとしたが、結局断念した。

<あんくるバスについて>

事務局：あんくるバスは、ダイヤ改正で利用しにくくなった、改悪だったという声がある。

【片桐委員】

全国的にバスドライバー不足で、今回もあんくるバス運行の入札が成立しなかったため、調整して今のコース、ダイヤになった。近隣自治体でも運行を担当しているが、安城市はバスの歴史も古い。ドライバーは、他社も含めてOBもあてにしているが、名鉄も困り込みを始めた。中型免許にする等の対応もしているが、事故等が大きく取り上げられるなどリスクが高く、なり手がいない。空いている路線もあり、結局はお金の問題になる。運輸業界は、バスは事故、トラックは競争が激しく、厳しい状態にある。

<技術革新について>

事務局：水銀灯の2020年に使用できなくなるが、蛍光灯も同様なので、LED化を進める必要がある。

かつてのエネルギーを使わない生活に戻すか、技術革新で解決するか、どちらの方向になるか。

【中西委員】

私は技術革新だと考える。それに加え動機付けが大切と考える。例えば、交通事故を起こすことはいけないことだとわかっているが無理な行動をしてしまう。事故で最も多い追突を防止するには、前の車のタイヤが見えるぐらいの車間距離をとる必要がある。その距離を示す物差しを社内のあちこちに設置したところ、今のところ1600人ぐらいの従業員は無事故である。

一方、妻が環境大学でいろいろ学んだところ、昔の生活はいやだと言っていた。

事務局：市では出前講座でいろいろな情報を提供しているが。

【中西委員】

耳だけでは駄目。カルタとか、手を動かさないと身につかない。

<住宅について>

事務局：家電の省エネ化は進んでいるが、市でも補助金がある住宅の省エネ・断熱は、どうお考えか。

【山田委員】

我が家は、居間は断熱リフォーム済みで快適。お風呂はまだ古いまま。補助金ももらえるのはわかるが、その効果が予想しにくい。断熱が良くなると、こうなるとい

う結果が目で見えてわかるようにアピールして欲しい。

事務局：最近の風呂は、夜入れても朝はそのまま入れるぐらい性能がよい。ペアガラスにすると、北側の部屋でも快適になる。

【山田委員】

リフォームしていない部屋は、結露もひどい。断熱の良さがわからなければ、新築するときになにも導入しないことになる。

事務局：既存の住宅にも入れたい。ペアガラスはエコポイント制度の対象になっている。

【竹内委員】

こういう情報は、工務店が知らないに進まないのではないか。

事務局：市内の工務店には補助金のパンフレットを配っている。かつて住宅のリフォームは訪問販売が中心だったが、今は市で補助金のリストを作成している。省エネ診断より、可視化する方が有効かもしれない。

【竹内委員】

エネルギー効率が良くなると、リバウンドする可能性があることにも注意する必要がある。ヨーロッパでは、30%ぐらい、日本の自動車では18%ぐらいある。家庭では、電気でお湯を作る器具が増えた。食洗機やポットなど。電気を使うとエネルギーを2倍使うことになるので、ガスでそのまま沸かした方がよい。

3 今年度のスケジュールについて（資料6）

事務局より説明。

4 その他（資料6）

事務局：環境フォーラム2015（6月13日（土）午後1時15分～）の説明。

（以上）